

「山重小学校の棒踊り伝承活動の取組」

1 学校名

志布志市立山重小学校

2 学年・人数

5・6年生（計11人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和4年10月～11月 総合的な学習の時間（本校体育館）

(2) 発表の日時・場所

令和4年11月12日（土）やましげフェスタ舞台発表（本校体育館）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

名称：棒踊り（ぼうおどり）

5 保存会や地域との連携の具体

平野地区で継承されていた棒踊りを小学校で引き継いで継承活動を実施している。山重校区コミュニティ協議会の青少年育成部で、棒踊り継承事業として計画し、地域と連携を図りながら進めている。毎年、平野地区から講師を招聘し、練習をして山重フェスタなどで発表をしている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

平野地区で継承されてきた伝統芸能「棒踊り」だが、高齢化が進み平野地区で継承することが難しくなってきた。そこで、小学校で継承してほしいという地域からの要望もあり、取り組むことにした。山重校区コミュニティ協議会の青少年育成部の年間計画の中に、棒踊り継承事業として位置付けて、地域と連携を図りながら実施している。

学校では、教育課程の中に位置付けて、5・6年生の総合的な学習の時間「地域の人を楽しませよう」（全4時間）で取り組んでいる。発表を授業参観週間に行われる山重フェスタで行った。今後は、山重校区コミュニティ協議会が主催している「ふるさとまつり山重」でも発表する予定である。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



練習状況



発表の場

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【6年生児童】

- ・ 山重小学校では、毎年地域の方が来られて高学年が棒踊りを習っています。棒踊りは、山重に伝わる伝統芸能です。6尺の棒と3尺の棒を使って踊ります。僕は5年生の時、3尺の棒で6年生と組んで踊りました。3尺はかがんで受け身をとることが多く、とても大変でした。特に難しかったのは、手や足の細かい動きを覚えることと順番を覚えることでした。
- ・ 6年生になって、6尺を使いました。どうしてかという、攻撃的な踊りがかっこよかったし、楽しそうだと思ったからです。動きは3尺よりも難しく、棒も重くなっていて、思った以上に大変でした。特に手の動きは持つ場所を滑らせて持ち替えたり回したりしてすごく難しかったです。
- ・ 僕は国語の学習で、お祭りについて調べました。祭りは、疫病退散や収穫を感謝するとありました。棒踊りにもそんな願いが込められているのかなあと思いました。
- ・ この伝統芸能である棒踊りをやってみて、踊りだけじゃなく、友達と協力して取り組むことの楽しさや地域の方の伝統を続けていきたいという思いを感じました。僕は、この山重小の棒踊りが長く続いて、妹や弟たち、また山重小の後輩たちがずっとこの棒踊りを続けて守ってほしいと思います。

【教職員】

- ・ 本校は、志布志市（旧有明町）国道269号線沿いにあります。校区は、自然豊かでお茶やメロン、いちごなどの栽培が盛んな農村地域です。平成20年度に現在の校舎が建って、校庭は芝生が敷き詰められていて、天気のよい休日には、たくさん子どもたちが遊びに来ます。山重の子どもや保護者、地域の方々は本校に愛着をもっていて、学校のためなら何でもするという気風があります。そのため、愛校作業では、地域の方々もたくさん参加して作業を協力してくださいますし、国道269号線の通学路の草払いも年間2回実施してくださいます。
- ・ 本校は、児童数47人・P戸数31と小規模校です。少子高齢化が進み、地域での伝承活動が難しくなっている中、地域と学校が連携して伝承活動を行っています。日頃からお世話になっている地域の方々の願いや思いを受け止め、少しでもふるさと山重のよさを体感できるように取り組んでいます。これからも、地域と共にある学校として継承活動を続けていきたいと思っています。